

フィンランド国防大学による ロシアの情報戦に関する研究

ロシアの脅威と絶えず向かい合ってきた「北欧の人々」
そこから生まれたロシア戦に向かい合う「北欧の叡智」

「ロシアの欺瞞手法の研究に専念している西側の機関は、
本書を必読書に加えるべきである。」

～ティモシー・トーマス(Timothy Thomas) 米国陸軍(退役)

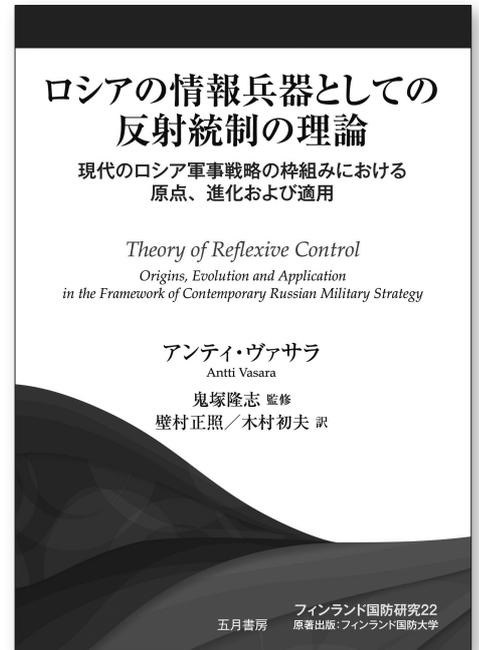
10月下旬刊行

2300円+税

鬼塚隆志(元陸将) 監修

元フィンランド防衛駐在官、元陸上自衛隊化学学校長兼大宮駐屯地司令

- ロシア軍の指揮統制の原則
- 最新の理論的な議論と反射統制の使用
- ロシア軍の意思決定
- 反射統制のモデル
- 指揮統制の反射モデル
- 反射統制に関するロシアの議論の検討
- 反射統制の理論
- ロシアの軍事戦略における情報の役割
- 反射統制理論の哲学および政治的背景



A5判・上製・186頁

ISBN 9784-909542-45-8 C0031

アンティ・ヴァサラ

Antti Vasara

鬼塚隆志 監修

壁村正照 / 木村初夫 訳

国家および国家群は、昔から、自国(群)が有利になるように、あらゆる人的・物的手段・方法を用いて、敵性国家(群)の意思決定者および意思決定組織が行う各種事象に対する判断および意思決定に対して影響を及ぼそうとしている。すなわち国家(群)は敵性国家等に影響工作(感化工作)を行っているということである。特に、現在その影響工作は、国内外のメディアはもとより、スマートフォン・パソコン等によるコンピューターネットワーク、つまりソーシャルネットワークを通じてますます容易になり、盛んに行われるようになってきている。この事例は今回の米国の大統領選およびコロナ感染の事態の中にでも現れている。(「監修者序文」より)

◎取次店搬入予定 **10月25日** 火以降随時 **返品可** ◎FAX (五月書房新社) **03-6453-4406**

◎注文扱(返条付)で出荷します。見計らいも歓迎です。新刊の自動送品はございません。

◎日販・トーハン・楽天BN・八木書店・中央社・日教販ほか、すべての取次番線でご注文いただけます。

◎返品はいつでも承ります。承諾書の了解者欄に「柴田(八木書店扱)」と記していただくか、依頼書(承諾書)をFAXしてください。

番 線	ご担当者様	様	冊	アンティ・ヴァサラ〔著〕 鬼塚隆志 監修 壁村正照 / 木村初夫 訳	五月書房新社
				ロシアの情報兵器としての 反射統制の理論	
				ISBN 978-4-909542-45-8 定価：本体2,300円+税	